

「かながわグランドデザイン」の進行管理について

1 「神奈川力構想・実施計画」における評価手法

- 計画の着実な推進を図るため、政策評価を総合的に実施し、評価結果に基づいて翌年度の政策運営の改善を図る「政策マネジメント・サイクル」により、計画の進行管理を行った。
- 毎年度のサイクルとして、年度の終了後、戦略プロジェクトごとに目標の達成状況や事業の進捗状況等を把握したうえで、県としての一次評価（自己評価）を行い、総合計画審議会において一次評価に対する二次評価（第三者評価）を行って、その内容を「白書」としてとりまとめ、公表した。
- また、計画の中間年（2年目）と最終年（4年目）に、それぞれ政策全般にわたって点検を実施し、必要に応じて「戦略プロジェクト」に盛り込んだ施策を見直すとともに、最終年の点検の成果を次の計画策定に生かすこととした。

2 「かながわグランドデザイン 実施計画」における評価手法の考え方

- 事後評価を徹底する観点から、①県の取り組みの成果を現わし、②毎年度実績が把握でき、③多面的な評価を可能とする複数の指標を示すことにより、計画の進行管理における位置づけの明確化を図る。
- あわせて社会環境の変化を示す客観的な統計データなども活用し、総合的な評価を行う。
- 社会経済環境の変化が激しいなかで、毎年度の適切な政策評価と、評価結果を踏まえた政策の見直しにより、効率的・効果的な政策運営を進める。
- 政策評価及び政策の見直しにあたっては、総合計画審議会の計画推進評価部会が中核となって取り組む。

3 議論のポイント（来年度の検討に向けた課題や視点の整理）

- 効率的・効果的な政策運営に向けた「政策評価」方法の検討
 - ・評価結果の政策レビューへの適切かつ効果的な反映の検討
（政策評価の実施時期の前倒し・後ろ倒し、政策レビューに向けた、プロジェクト課題の洗い出し）
 - ・一次評価方法の検討
（総合分析等、数値目標の達成度（A B C D ランク分け）等）
 - ・二次評価方法の検討
（評価の範囲、意見聴取の方法等）
 - ・効果的な評価結果の公表方法（従来の「神奈川力構想・白書」の役割）の検討
 - ・その他

4 今後の検討スケジュール（案）

- 【平成24年度】
- ・ 9月～12月 部会による政策評価手法等の検討
 - ・ 1月 総合計画審議会による平成25年度以降の「政策評価」方針の決定



「かながわグランドデザイン 実施計画」における評価の実施（平成24年度～25年度）

- ① プロジェクトの政策評価（一次評価及び二次評価）の実施
- ② 評価結果のとりまとめ・公表、県民意見の募集
- ③ 評価結果を踏まえた、政策レビューの適切な実施
- ④ 政策レビュー結果の予算調整への反映
- ⑤ 予算審議、翌年度の政策運営の改善

評価結果の政策形成
への効果的な反映

5 「かながわグランドデザイン 実施計画」における毎年度のサイクルのイメージ

